

第11次新潟県職業能力開発計画の成果指標の設定について(案)

資料 5

1 見直す指標

実績はR3.11末現在

No	指 標	第10次計画		第11次計画	考え方	目標の見直し等
		目標 (R2)	直近実績	目標 (R7)		
1	ものづくり分野以外の訓練修了者の就職率	80.0%	① 73.3% ② 76.0% △概ね達成	—	離職者訓練全体として、セイフティーネットとしての役割を果たすとともに、求人ニーズにマッチしているかどうかをみるため、修了者の就職に改める。	離職者訓練の大半を占める委託訓練の国目標値は75%であり、本県はすでに達成している。 前計画の「ものづくり分野以外の訓練修了者の就職率」の水準とする。
	↓	離職者訓練の修了者の就職率	—	⑳ 76.5% ㉑ 77.0% ① 73.4% ② 76.1%		
2	在職者訓練の開講定員に対する受講者の割合	70.0%	① 62.4% ② 39.4% ▲未達成 R2中止コース多数	—	中止分の予算を活用し、ニーズに応じてコースを増やしたことに伴い開講定員が増えたため、結果として数値が下がり、本指標では未達成となる。 予算（定員）の範囲内でできるだけ多くの方から利用されるよう努めることが重要であるため、受講者数に改める。	企業ニーズ等を把握してコース設定を行うことは重要であり、各校で地域の企業・団体等のニーズを踏まえて、毎年度PDCAサイクルで見直ししながら、引き続き設定する必要がある。 前計画期間（4年間）の平均が1,494人（定員の69.5%）であることを考慮し、R3定員2,150人×70%=1,505人とする。
	↓	在職者訓練の受講者数	—	㉑ 1,917人 ㉒ 1,477人 ① 1,479人 ② 1,101人 (平均:1,494人)		
3	職業訓練による障害者の就職者数	100人/年	① 37人/年 ② 48人/年 ▲未達成	—	障害者の雇用が促進され、職業訓練の受講者が減少しているため、指標を見直す。 受講者の就職率を高める指標とする。	国の障害者訓練の目標値が55%である中で、本県はすでに達成して高水準に推移している。 前計画期間（4年間）の平均である70.8%を踏まえて、目標値を70%とする。
	↓	障害者職業訓練による修了生の就職率	—	㉑ 72.6% ㉒ 71.3% ① 63.8% ② 73.8% (平均:70.8%)		

2 新規の指標

実績はR3.11末現在

No	指 標	第10次計画		第11次計画	考え方	目標の見直し等
		数値目標 (R2)	直近実績	数値目標 (R7)		
1	IT分野の訓練修了者の就職者数【新規】	—	㉑ 47人 ㉒ 93人 ① 85人 ② 144人	200人	あらゆる業種でデジタル化が進展し、これに対応するためIT分野の職業訓練を強化したことに伴い、新たに設ける。	前計画期間（4年間）のうち、直近(R2)が144人である。R3年度は定員を約3割拡充していることを踏まえ200人とする。 144人×1.3=187人 → 200人

3 継続する指標(目標値据え置き)

No	指 標	第10次計画		第11次計画	考え方	目標の見直し等
		目標(R2)	直近実績	目標(R7)		
1	ものづくり分野の訓練修了者の就職率	100%	① 89.0% ② 89.4% △概ね達成	100%	前計画で新たに加えた離職者訓練については修了生全員の就職は困難であるが、県立テクノスクール施設内訓練であることからきめ細やかな支援を行い、引き続き100%となるよう取り組む。	(目標：据え置き) テクノスクール施設内で行う機械、金属加工などのコースで、学卒者訓練と離職者訓練の合計が対象。 離職者の中には就職決定に時間を要する方もおり、直近の就職率が82.5%となっているが、できる限り全員が就職に結びつくよう努める。
2	テクノスクール修了生(学卒者訓練)の就職1年以内の離職率	13.0%	① 18.3% ② 18.5% ▲未達成	13.0%	前計画と同じ。 短大・専修学校の直近の離職率推計値15.7%(H31.3卒)を下まわり値を目標とする。	(目標：据え置き) 発達障害等の疑いのある訓練生が増えている実態を踏まえ、目標は据え置きとし、個別対応により高い達成感を体験させる訓練を通じて人間力を養い、就職後のミスマッチ防止を図る。
3	技能検定の県内合格者数	3,000人	① 3,568人 ② 2,069人 ◎R1に達成済み R2試験一部中止	3,000人	前計画と同じ。 若年者や外国人技能実習生に受験を促す。	(目標：据え置き)
4	デュアルシステム訓練による就職者の常用雇用率	90.0%	① 87.0% ② 86.4% △概ね達成	90.0%	前計画に同じ。 若年者の安定雇用の成果を計る指標。	(目標：据え置き)
5	高齢(55歳以上)の訓練修了者の就職率	70.0%	① 66.4% ② 69.1% △概ね達成	70.0%	生産年齢人口に占める高齢者の割合が拡大することから、引き続き本指標を目標として取り組む。	(目標：据え置き)
6	女性の訓練修了者の就職率	85.0%	① 76.4% ② 78.9% △概ね達成	85.0%	国委託訓練の目標値が75%である中で、高水準に推移していることから、現状から上乗せをした目標値とする。	(目標：据え置き)

4 廃止

No	指 標	目標(R2)	直近実績	目標(R7)	考え方	目標の見直し等
1	委託訓練の開講定員に対する受講者の割合	80.0%	① 76.2% ② 73.2% △概ね達成	—	求人・求職ニーズを反映している度合いを計る指標としたものであるが、実施規模や分野を見直すノウハウが定着し、概ね目標を達成していることから廃止。	11次計画では、産業界や地域のニーズを踏まえた職業訓練等の実施と人材育成体制の整備として、関係機関と情報共有やニーズを把握するとしていることから、これらをとおして求人・求職ニーズを反映した職業訓練を実施する。

直近実績の②(R2年度)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていたことから、①(R元年度)を併記した。